

農山漁村地域整備計画

(令和3年3月16日)

計画の名称 宇佐(2)地区漁業集落環境整備事業
計画策定主体 土佐市
対象市町村 土佐市
計画の期間 平成29年度 ~ 平成35年度(7年間)
計画の目標 土佐市宇佐(2)地区において、道路湛水や床上・床下浸水被害の改善を図るため、雨水排水路整備を行う。集落内道路が狭隘で、主要道路県道須崎仁ノ線に到達するまでの道路体系が未整備であることから、津波避難時間の短縮及び交通の安全性や利便性が悪く改善を図るため、集落道の整備を行う。
定量的指標 対象地区の浸水被害を0戸とするため、雨水排水路を整備する。 津波避難時間の短縮及び交通の安全性や利便性の向上を図るため、集落道を整備する。
対象事業 別紙のとおり

農山漁村地域整備計画

令和3年3月16日

計画名称										
宇佐（2）地区漁業集落環境整備事業										
計画策定主体										
高知県										
対象市町村										
土佐市										
計画の期間										
平成29年度 ～ 平成35年度（7年間）										
計画の目標										
土佐市宇佐（2）地区において、道路湛水や床上・床下浸水被害の改善を図るため、雨水排水路整備を行う。また、集落内道路が狭隘で、主要道路県道須崎仁ノ線に到達するまでの道路体系が未整備であり津波避難時間の短縮及び交通の安全性や利便性が悪く改善を図るため、集落道の整備を行う。										
定量的指標										
対象地区の浸水被害を0戸とするため、雨水排水路を整備する。 津波避難時間の短縮及び交通の安全性や利便性の向上を図るため、集落道を整備する。										
対象事業										
事業名	事業型	地区名	事業実施主体	関係市町村	主な事業内容		工期	総事業費	費用対効果	備考
漁港漁村環境整備事業	漁業集落環境整備	宇佐（2）	土佐市	土佐市	雨水排水路	L=4,240m	H29	(911,200千円) 900,000千円	3.17	
					集落道(1)	L=350m	～	5,000千円		
					集落道(2)	L=100m	R5	70,000千円		
					指導監督費	N=1式		(-) 13,679千円		
合計 (全体事業費)							(986,200千円) 988,679千円			

農山漁村地域整備交付金(農山漁村地域整備計画)における5年間の事業費

漁業集落環境整備事業

(金額単位:千円)

地区名	事業主体	工期	総事業費(事務費除く)								避難路 (m)	増加する 避難場所 (m2)	主な整備概要	
			H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5					
宇佐(2)	土佐市	H29~R5		988,679	115,158	30,600	78,270	112,105	111,044	283,300	258,202	100		雨水排水路
			市町村等 事業推進費	2,258	600	1,270	1,605	1,594	3,300	3,052	集落道(2/3)			
			事業費	112,900	30,000	77,000	110,500	109,450	280,000	255,150	集落道(1/2)			
			市町村等 事業推進費											
			事業費											
			市町村等 事業推進費											
			事業費											
			市町村等 事業推進費											
			事業費											
			市町村等 事業推進費											
			事業費											
			市町村等 事業推進費											
			事業費											
計				112,900	30,000	77,000	110,500	109,450			0			
			市町村等 事業推進費	2,258	600	1,270	1,605	1,594						
			事業費	115,158	30,600	78,270	112,105	111,044						

位置図

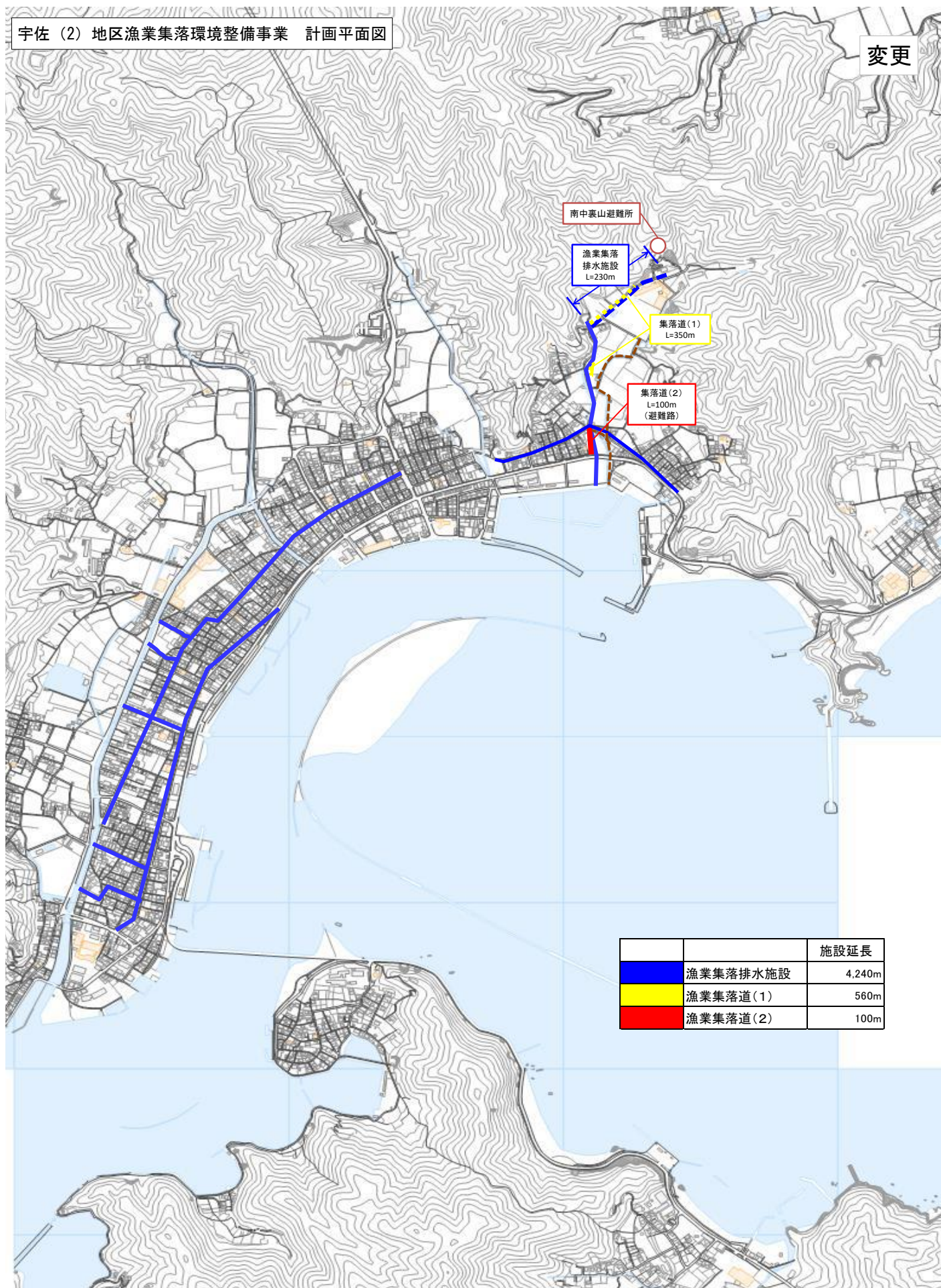


宇佐(2)地区(宇佐漁港)

0 25km 50km

宇佐 (2) 地区漁業集落環境整備事業 計画平面図

変更



農山漁村地域整備計画 評価調書

計画の名称
宇佐（2）地区漁業集落環境整備事業
計画策定主体
土佐市
対象市町村
土佐市
計画の期間
平成29年度 ～ 令和5年度（7年間）
計画の目標
土佐市宇佐(2)地区において、道路湛水や床上・床下浸水被害の改善を図るため、雨水排水路整備を行う。また、集落内道路が狭隘で、主要道路県道須崎仁ノ線に到達するまでの道路体系が未整備であり津波避難時間の短縮及び交通の安全性や利便性が悪く改善を図るため、集落道の整備を行う。
定量的指標
対象地区の浸水被害を0戸とするため、雨水排水路を整備する。 津波避難時間の短縮及び交通の安全性や利便性の向上を図るため、集落道を整備する。
対象事業
漁業集落環境整備事業
総事業費
986,200 千円

評 価

項目	評価基準	評価内容	判定
目標の妥当性	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。また、関連する計画との整合が図られているか。	目標は、漁村地域の課題である地震防災対策に対応したものである。	適
整備計画の効果・効率性	整備計画に基づく対象事業の実施によって見込める効果は適切なものであるか。また、効率的な整備計画となっているのか。	設定している効果は、対象事業の目的に沿っており、効率的な整備計画となっている。	適
整備計画の実現可能性	整備計画の内容は、事業実施の可能性が十分検討されているか。また、地元の推進体制等は整っているか。	事業主体の財政面や地域の協力体制等、地元の推進体制は整っている。	適